

## 平成27年度 事業報告

### 第1 各種会議

協会事業を適正かつ円滑に推進するため、各種会議の開催及び関係機関が主催する会議に出席した。

#### (1) 業務執行理事会

##### ①平成27年9月29日(火) 14:30~ 於 防災センター2F 会議室

出席者 会長、鹿熊副会長、齊藤副会長、理事長、副理事長

- ・執行部役員会の進め方について
- 消防協会事務局の移転について
- 日消定例表彰及び県協会長表彰について
- 業務執行状況(8月末)について

#### (2) 理事会

##### ①平成27年5月14日(木) 10:00~ 於 防災センター2F 研修室

出席者 会長、鹿熊副会長、齊藤副会長、理事長、副理事長 他常務理事、監事 16名

- ・平成26年度事業報告、収支決算報告(案)について
- ・定時評議員会の招集について
- ・評議員候補者の評議員会推薦について
- ・役員候補者の評議員会推薦について
- ・役員改選について

##### ②平成28年3月25日(金) 10:00~ 於 防災センター2F 研修室

出席者 高野会長他 17名 監事 2名

- ・平成28年度事業計画(案)、収支予算(案)の承認
- ・その他

#### (3) 評議員会

##### ①平成27年5月29日(金) 10:00~ 於 防災センター2F 研修室

出席者 評議員：15名、理事：高野会長他3名、監事3名

オブザーバー：新評議員4名

- ・評議員の選任  
(任期は前任者の残任期間 平成27年度事業に関する定時評議員会の終結の日まで)

(選任者)

(辞任者)

見浦 正則(富山市消防団副団長)

林 孝修

武部 和浩(高岡市消防団副団長)

柴田 秀一

米澤 升雄(滑川市消防団副団長)

平井 義隆

荒尾 和彦(朝日町消防団副団長)

越澤 久行

野谷 正実(県消防長会)

竹谷 進

- ・理事の選任(任期は平成27年度事業に関する定時評議員会の終結の日まで)

(選任者)

(辞任者)

平井 義隆(滑川市消防団長)

山岸 和好

林 孝修(富山市消防団副団長)

今井 達雄

- ・平成26年度事業報告及び収支決算報告の承認
- ・役員を選任、平成27年度事業計画及び収支予算、火災発生の状況について報告

#### (4) 執行部役員会

##### ①平成27年4月27日(月) 17:00~ 於 ホテルグランテラス富山 会議室

出席者 会長、鹿熊副会長、齊藤副会長、理事長、副理事長 他常務理事、監事 13名

- ・役員の変動状況について
- ・平成26年度事業報告、収支決算見込みについて

- ・当面の行事予定（次回理事会及び評議員会等の日程等）
- ・火災発生の状況について

②平成 27 年 9 月 29 日(火) 15:00～ 於 防災センター 2F 会議室

出席者 会長、鹿熊副会長、齊藤副会長、理事長、副理事長 他常務理事、監事 12 名

- ・消防協会事務局の移転について
- ・日消定例表彰及び県協会長表彰について
- ・業務執行状況（8 月末）について
- ・火災発生の状況等について

③平成 27 年 12 月 10 日(木) 17:30～ 於 とやま自遊館 3F 会議室

出席者 会長、鹿熊副会長、齊藤副会長、理事長、副理事長 他常務理事、監事 13 名

- ・業務執行状況（11 月末）について
- ・当面の行事日程について
- ・火災発生の状況等について
- ・高岡市消防本部における消防団加入促進の取組み

(5) 顧問会議

平成 28 年 3 月 17 日(木) 12:00～ 於 県民会館 8F 電気ビルレストラン会議室

出席者 上田信雅常任顧問、山本修常任顧問、坂田光文顧問 河原豊志顧問

会長、鹿熊副会長、齊藤副会長、副理事長 八田常務理事(日消評議員)

- ・消防協会の移転等について

(6) 日本消防協会主催会議

ア 日本消防協会評議員会

平成 27 年 6 月 19 日(金)10:45～ 日消会館

- ・補欠評議員の選任について
- ・補欠理事及び監事の選任について

平成 27 年 6 月 19 日(金)11:00～ 日消会館

- ・平成 26 年度事業報告、決算認定について
- ・会計監査人の再任について
- ・その他報告事項

平成 28 年 3 月 8 日(火)11:00～ 日消会館

- ・平成 28 年度予算について

イ 全日本消防人共済会総代会

平成 27 年 6 月 19 日(金) 11:45～ 日消会館

- ・平成 26 年度事業報告、決算認定、剰余金処分案
- ・補欠理事の選任、総代の補充

平成 28 年 3 月 8 日(火)11:00～ 日消会館

- ・平成 28 年度予算について

ウ 都道府県事務局長会議

平成 28 年 3 月 1 日(火)13:30～ 日消会館

- ・平成 28 年度予算（案）の概要、H28 全国消防操法大会出場順抽選

エ 中部地区実務担当者会議 平成 27 年 7 月 7 日(火) 愛知県

- ・福祉共済事業、火災共済事業の実務について

(7) 中部七県消防協会長・消防主管課長会議 11 月 9 日(月)～10 日(火) 岐阜県高山市

会長、事務局長出席

- ・各県提出議題（消防団員の確保対策、消防協会の組織等）を協議

第 2 防火・防災思想普及事業

消防関係組織の育成と県民、事業所等に消防・防災思想の普及・啓発を図り、消防団、消防行政機関、県民が一体となって火災・災害防止に取り組み安心して安全な社会の発展に寄与することを目的で次の事業を実施した。

(1) 報道機関による防火広報等

- ・シネアドを活用した消防団PR

県西部の映画館で映面前のCM（シネアド）を県と共同実施（4月～9月）

(2) 火災予防運動の実施

全国及び富山県火災予防運動に呼応して、秋季、春季火災予防運動を実施し、県民に火災予防思想の普及啓発を図った。

- ・秋季火災予防運動 平成27年11月9日から11月15日までの7日間
- ・春季火災予防運動 平成28年3月20日から3月26日までの7日間

(3) 県下小学生火災予防研究発表大会

富山県と共催で小学生火災予防研究発表大会を開催し、優秀研究発表校を表彰することにより、小学生から火災予防の知識を習得させ、火災予防思想の普及を図った。

- ・開催月日 11月7日(土) ・場 所 富山県教育文化会館ホール
- ・参加校等 16校（4年生から6年生）102名
- ・成 績

成績	学 校 名	学年	演 題
特選	朝日町立さとみ小学校	6年	いくぞ！！ぼくらの『火災意識改革』
金賞	高岡市立戸出西部小学校	5年	目指せ！火災のない安全な町づくり ～知る・伝える・つながる～
銀賞	射水市立歌の森小学校	5年	歌の森少年消防隊の出動だ！
〃	黒部市立宇奈月小学校	6年	宇奈月を「もしも」火ら守り隊
銅賞	南砺市立福野小学校	6年	見えないところの火を退治
〃	滑川市立北加積小学校	6年	広めよう！北加積発 火災予防プロジェクト
〃	小矢部市立東部小学校	6年	守ろう！ぼくらの東部 ～わたしたちにできること～



(4) 年末特別警戒の実施

年末特別警戒を実施し、県民に火災予防思想の普及啓発を行った。

- ・年末特別警戒 平成27年12月21日から12月31日まで  
(報償金交付)

市町村名	職団員数(人)	交付額(円)	市町村名	職団員数(人)	交付額(円)
富山市	2,852	284,000	舟橋村	26	5,000
新川地域	114	12,000	高岡市	1,139	114,000
朝日町	267	27,000	射水市	831	83,000
入善町	349	34,000	氷見市	793	80,000
黒部市	466	46,000	砺波市	558	56,000
富山県東部	117	11,000	南砺市	1,233	123,000
魚津市	476	47,000	小矢部市	449	45,000
滑川市	320	32,000	砺波地域	185	18,000
立山町	357	35,000	計	10,811	1,080,000
上市町	279	28,000	構成員数割り	50名以内は	5,000円

(5) 防火ポスターの作成配布等

富山県と共催で小・中学生の防火ポスターを募集し、優秀作品を表彰するとともに最優秀作品を富山県の火災予防ポスターとして3,800枚作成し、県下市町村等に配布

ポスター図案審査会 平成27年12月24日(木) 10:00～ 富山県防災センター

応募総数 総数71点 小学生の部42点 中学生の部29点

応募のあった71作品の展示

1月19日から2月28日まで 四季防災館で展示

春季火災予防運動期間中 高岡市内のショッピングセンターで展示

※ 小学生の部の最優秀作品が春季火災予防運動防火啓発ポスターとして採用

【小学生の部】

賞	消防本部(局)名	学 校 名	氏 名	学年
最優秀賞	高岡市	高岡市立福岡小学校	清澤 志穂理	6年
優 秀 賞	富山市	富山市立芝園小学校	安井 彩馨	5年
〃	高岡市	高岡市立野村小学校	石川 綾紅良	6年
〃	射水市	射水市立中太閤山小学校	仕切 優那泉	5年
〃	東部消防組合	魚津市立住吉小学校	高慶 佳江	6年
〃	新川地域消防本部	黒部市立中央小学校	村椿 かずみ	5年
〃	砺波地域消防組合	小矢部市立石動小学校	前瀬 凌	6年
〃	砺波地域消防組合	南砺市立城端小学校	成田 颯希	5年
計8作品 (優秀賞：順不同)				

【中学生の部】

賞	消防本部(局)名	学 校 名	氏 名	学年
最優秀賞	高岡市	高岡市立南星中学校	石浦 雄大	2年
優 秀 賞	射水市	射水市立小杉中学校	前橋 美佑	3年
〃	東部消防組合	滑川市立滑川中学校	毛利 光希	3年
〃	氷見市	氷見市立十三中学校	林 愛璃	2年
計4作品 (優秀賞：順不同)				



27年度 最優秀作品 (啓発ポスター作品)  
高岡市立福岡小学校6年 清澤 志穂理さん



27年度 最優秀作品  
高岡市立南星中学校2年 石浦 雄大さん

### (6) 少年消防クラブ・幼年消防クラブに対する活動助成

市町村に組織されている少年・幼年消防クラブへ活動費助成を行い少年・幼年期から火災予防の知識を習得させ、火災予防思想の普及を図った。

・幼年消防クラブ 315 クラブ 16,515 人 少年消防クラブ 196 クラブ 24,612 人

市町村名	クラブ数	助成額	市町村名	クラブ数	助成額
富山市	216	264,600	舟橋村	2	16,800
朝日町	9	28,300	高岡市	79	141,300
入善町	17	45,200	射水市	46	101,400
黒部市	3	17,800	氷見市	14	42,400
魚津市	21	58,800	砺波市	12	40,600
滑川市	26	63,500	南砺市	22	59,800
立山町	10	29,200	小矢部市	19	47,000
上市町	15	43,300	計	511	1,000,000

### (7) 婦人防火クラブ等に対する活動助成

日頃から家庭で火を使う機会の多い女性は、「火災予防に関する知識」を習得することが重要であり、婦人防火クラブへ活動費助成を行い育成に努めた。

・婦人防火クラブへ活動費助成

市町村名	クラブ数	助成額	市町村名	クラブ数	助成額
富山市	66	484,100	上市町	1	26,500
入善町	10	94,100	射水市	13	123,500
黒部市	4	45,900	氷見市	3	39,400
魚津市	2	33,000	南砺市	9	87,600
滑川市	1	26,500			
立山町	3	39,400	計	112	1,000,000

### (8) 第 15 回全国中学生「防火防災に関する」作文の募集

中学生が地域と消防団との関わりを深め、自主的な防火防災の意識の高揚を図るとともに次世代の防災の担い手の育成を図ることを目的として実施している全日本消防人共済会の中学生防火防災に関する作文の募集を実施した。

県下 18 中学校から 33 作品の応募があり、そのうち 2 作品を全国大会へ提出したところ、全国 40 作品のうちから本県の 1 作品が最優秀賞に決定された。

最優秀賞 射水市立新湊南部中学校 2 年 加藤歩乃さん 題名「身近な消防団」

## 第 3 表彰事業

永年にわたり昼夜を問わず消防活動に従事する消防職団員及びその家族を表彰し、士気の高揚を目的に表彰を行った。

### (1) 富山県消防協会長定例表彰

表彰式 平成 28 年 3 月 12 日(土) 9:30～ 富山県庁 4 階大ホール

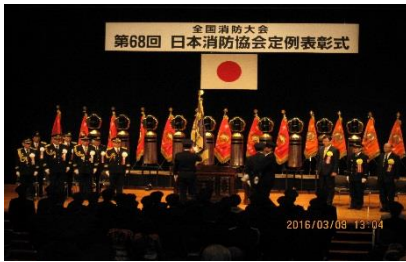
- ①表彰旗 富山市消防団
- ②表彰綬 富山市消防団保内分団、富山市消防団上滝分団、魚津市消防団加積分団  
高岡市消防団太田分団、氷見市消防団上庄分団、氷見市消防団女良分団
- ③功績青花章 53 名 ④功績黄花章 53 名 ⑤特別功績章 1 名 ⑥勤続緑花章 327 名
- ⑦勤続銀章 373 名 ⑧優良機関員章 53 名 ⑨保全整備優秀消防ポンプ 30 車
- ⑩家族に対する感謝状 80 名 ⑪個人及び団体に対する協力章 2 団体
- ⑫特別表彰 2 機関 ⑬永年勤続退職者感謝状 264 名

### (2) 日本消防協会長定例表彰

表彰式 平成 28 年 3 月 8 日(火) 11:00～ 日本消防会館

- ①竿頭綬 朝日町消防団、小矢部市消防団

- ②特別功労章 富山県消防協会長 高野行雄
- ③功績章 12名 ④精績章 37名 ⑤勤続章 125名



**(3) 現場功労者等の表彰**

- 山田 猛 (射水市消防本部消防士長) 4月30日死亡 功績黄花章
- 谷 利信 (氷見市消防団部長) 6月19日死亡 功績黄花章
- 九里 一浩 (朝日町消防団団員) 6月20日死亡 功績黄花章

**第4 技能振興(訓練・大会)事業**

操法訓練等を通じて消防の最も基本かつ重要な操法技術の習得に必要な実地訓練を行うとともに、日頃の訓練の成果を競い合うことで消防職団員の士気の高揚と火災防御技術の向上を図る目的で次の事業を実施した。

**(1) 第66回富山県下消防団消防操法大会の開催**

消防団員に対し、消防機械器具の取扱を習熟させるとともに、消防団員の士気の高揚と火災防御技術の向上を図ることを目的に開催した。

- ・開催月日 7月25日(土) ・場 所 富山県広域消防防災センター
- ・参 加 ポンプ車の部 22チーム 小型ポンプの部 12チーム
- ・激 励 費 680,000円(参加消防団20,000円/団)
- ・成 績

ポンプ車の部		小型ポンプの部	
順位	消防団名	順位	消防団名
1	小矢部市消防団 埴生分団	1	富山市消防団 上滝分団
2	砺波市消防団 南般若分団	2	富山市消防団 細入南分団
3	高岡市消防団 太田分団	3	砺波市消防団 種田分団
4	富山市消防団 野積分団	4	南砺市消防団 城端分団
5	富山市消防団 上滝分団	5	高岡市消防団 中田分団
6	南砺市消防団 両百瀬分団		
7	高岡市消防団 西五位分団		
8	南砺市消防団 井口分団		

**(2) 富山県下消防署警防技術交換会への助成**

現実的の火災現場を想定し、消防職員の機動的かつ実践的な活動訓練を実施することにより、災害時の対応能力の技術的向上と県下各消防本部の警防技術の情報交換を目的に開催された警防技術交換会に助成した。

- ・開催月日 10月20日(火)
- ・場 所 富山県広域消防防災センター ・参 加 52チーム
- ・訓練種目 緊急走行訓練、火災防御訓練

**(3) 全国女性消防操法大会参加**

- 小矢部市女性消防隊 10月15日(木) 横浜市消防訓練センター
- ・優秀賞(第5位)・優秀選手賞 (指揮者)西野宏実さん (4番員)宮田睦子さん

**(4) 県下消防協会支部の消防操法訓練等助成**

**①操法訓練事業補助金**

消防団が操法技術の修得と実践訓練を目的とした消防操法訓練事業を通して、消防団員の士気の高揚と火災防御技術の向上を目的に補助金及び激励費を交付した。

補助金 3,500,000 円 15 消防団 9,499 人

市町村名	団員数	補助金額	市町村名	団員数	補助金額
富山市	2,385	874,000	上市町	279	104,000
朝日町	267	97,000	高岡市	911	333,000
入善町	349	128,000	射水市	715	264,000
黒部市	466	170,000	氷見市	740	271,000
魚津市	476	174,000	砺波市	558	205,000
滑川市	320	118,000	南砺市	1,233	451,000
立山町	325	118,000	小矢部市	449	163,000
舟橋村	26	30,000	計	9,499	3,500,000

(5) 全国女性消防操法大会出場団へ特別訓練費及び激励費の交付

- ・特別訓練費助成 300,000 円及び激励費 300,000 円
- ・出場助成金 100,000 円

(6) 消防職員警防技術交換会及び救助技術訓練助成（消防長会）…… 各 100,000 円

(7) 高速道路救急救助訓練助成 …… 50,000 円（高速道路富山県消防連絡協議会）

(8) 消防職員訓練等助成 …… 850,000 円（消防長会）

## 第5 指導教養事業

協会が主催する研修会及び日本消防協会の各種研修会等への派遣を通して、消防団指導者の養成と消防職団員の資質の向上及び関係団体の組織の育成を目的に次の事業を実施する。

(1) 消防団員指導員研修会開催 11月14日(土)、28日(土) 広域消防防災センター

消防団活動の中核となる消防団員で、団長が推薦する者を対象に開催し、最近の消防行政、安全管理、火災防御、施設体験などを内容とした研修会を実施した。

参加者数 41名（分団長11、副分団長6、部長5、班長9、団員1）

(2) 日消・消防団幹部特別研修参加

消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、団長、副団長を対象として消防団を取り巻く諸問題について、見識を高め、消防団運営に反映させることにより地域住民の安心安全の向上に資するため、研修会に参加した。

- ・開催月日 平成28年1月12日(火)～15日(金)
- ・開催場所 日本消防会館、消防庁危機管理センター
- ・参加者 1名（富山市消防団） 各県1名
- ・研修内容 課題別討議「大規模災害時における消防団本部の運営について」

(3) 日消・消防団幹部候補中央特別研修参加

<男性の部>

年齢40歳以下、団歴概ね3年以上、階級が分団長以下で将来の消防団幹部として囑望されるもののうち、消防団長の推薦を受けて、県協会長が選考

- ・開催月日 平成28年2月3日(水)～5日(金)
- ・開催場所 日本消防会館、消防庁危機管理センター
- ・参加者 3名（富山市消防団、舟橋村消防団、射水市消防団から各1名）各県3名
- ・研修内容 グループ毎に課題別討議と討議結果の発表

<女性の部>

年齢49歳以下、団歴概ね1年以上、階級が分団長以下で将来の消防団幹部として囑望されるもののうち、消防団長の推薦を受けて、県協会長が選考

- ・開催月日 平成28年2月17日(水)～19日(金)
- ・開催場所 日本消防会館、消防庁危機管理センター
- ・参加者 2名（滑川市消防団） 各県2名
- ・研修内容 グループ毎に課題別討議と討議結果の発表

**(4) 富山県消防団中堅幹部研修会開催 11月29日(日)13:30～ 広域消防防災センター**

参加者 県下消防団員(中堅幹部等148名)

概要

- ・あいさつ 齊藤副会長
- ・講演 ①広域消防応援と「御嶽山」噴火災害における救助活動  
講師 富山県消防局参事・警防課長 吉田 辰義 氏
- ②富山県の気象と災害  
講師 富山地方気象台 調査官 嶋川 寿美男 氏

**(5) 女性消防団員に対する助成**

女性消防団員の加入促進を図るとともに、女性消防団員の資質の向上と女性消防団員同士の情報交換を推進するため、富山県女性消防団員連絡協議会の育成並びに女性消防組織の活性化を図った。

- ・全国女性消防団員活性化大会参加及び助成 10月29日(木)～30日(金) 佐賀県  
大会概要…活動事例発表(1団体)、火災啓発劇発表(3団体)、情報交流会など  
富山県参加者40名 参加助成…交流会参加者5,000円/名 総額200,000円
- ・富山県女性消防団員連絡協議会助成 200,000円

**(6) 県下消防団事務担当者会議 平成27年6月24日(水)14:30～ 呉羽ハイツ**

県下消防団担当消防職員 31名出席

- ・消防団員の研修、訓練、事業計画・予算、福祉共済事業など

**(7) 富山県消防長会に対する助成 200,000円**

消防長会との連携・協力により円滑な関係事業を実施するため助成を行った。

**第6 四季防災館の管理運営**

自主防災組織など防災関係者の研修並びに県民の防災に関する知識の普及及び防災意識の高揚を図り、もって安全で安心な地域社会の形成に資する目的で設置された四季防災館の指定管理者として管理運営を行っている。

**(1) 来館者数**

区分	団体数	来館者数			
		大人(男)	大人(女)	子供	計
27年度	556	10,699	8,681	10,959	30,339
26年度	615	10,298	9,757	11,170	31,225
比較	△59	401	△1,076	△211	△886

5月1日(金)～ 越中富山ふるさとスタンプラリー実施

5月連休イベント 大声コーナーの設置

7月19日(日) 県ドクターヘリキックオフイベント実施に伴うスタンプラリーの実施

8月9日(日) ジュニア防災フェスティバル(夏季): 県主催 1,538人

2月21日(日) ジュニア防災フェスティバル(冬季): 協会経費負担 1,522人

3月27日(日) ちびっ子撮影会 in 四季防災館 700人

**(2) 研修会等企画事業の実施状況**

実施月日	研修会等名	参加者	実施内容
5月24日 (日)	高齢者防災講座	37	・高齢者を火災や災害から守る ・住宅用火災報知器の設置促進など防火、防災の啓発 ・非常食品の試食 ・災害体験
6月7日 (日)	ふるさと災害講座	37	・地震、水害への備え、避難の方法 ・防災機関との連携に必要な知識習得 ・災害体験 ・非常食品の試食
6月21日 (日)	高齢者防災講座	44	・高齢者が自分を守るための防災教育 ・防災マップづくり ・災害体験 ・非常食試食



7月12日 (日)	小学生と父母の 防災講座	12	・各種災害基礎知識 ・防災クイズ ・災害体験 ・消防車と親子記念撮影 ・非常食試食
7月29日 (水)	ジュニア防災講座	30	・富山県の災害 ・家庭で起こる火災の卓上実験 ・災害体験 ・非常食品の試食
8月9日 (日)	県内の災害を学ぶツアー (小4～中2対象)	親子 38	・県内の災害発生場所見学 ・県防災ヘリ見学 ・宇奈月ダム 見学 大場の大転石、霞堤、巨大水制群の説明、見学 ・ジュニア防災フェスティバル参加 ・災害体験
10月18日 (日)	女性のための防災講座	69	・火災等災害から身を守る ・非常食試食 ・災害体験 ・備蓄倉庫見学 ・非常食試食
11月4日 (水)	婦人防火クラブ研修	39	・濃煙熱気施設での避難訓練 ・消防ポンプ車試乗体験 ・屋内消火栓の放水体験 ・救命講習 ・災害体験
11月8日 (日)	県民防災講座	33	・身近で出来る防災対策 ・災害体験 ・備蓄倉庫見学 ・非常食品の試食
12月18日 (金)	自衛消防隊研修会	50	・火災防御活動 ・濃煙内避難訓練 ・傷病者の搬送の仕方 ・消火栓ホース取扱い ・災害体験
1月24日 (日)	高齢者防災講座	48	・高齢者を火災や災害から守るための研修 ・高齢者の逃げ遅れを防ぐため、家庭内のできる日頃の備えと心構え ・受託用火災報知器の設置促進など防火・防災の啓発 ・災害体験
随時	応急手当講習(12/未現在)	862	51回



高齢者防災講座①5/24



ふるさと災害講座 6/7



高齢者防災講座②6/21



小学生と父母の防災講座 7/12



ジュニア防災講座 7/29



県内の災害を学ぶツアー8/9



女性のための防災講座 10/18



### (3) 施設・設備の維持管理

- ・ 2階コンプレッサー室の雨漏り修理
- ・ 男性用トイレの水量の調整不能の修理
- ・ 富山の四季と地形の映像不具合により、メディアプレーヤーを交換

#### (4) 来館者からの苦情等

- ・ 分かり易く解説していただきたい。(投書箱1通)  
⇒ 今後とも丁寧に説明するよう解説員を指導した。
- ・ 受付が席を離れた際に、来館者が2階の煙体験コーナーにおいて操作ボタンを押したため、近くにいた解説員が強く指導した。この後来館者は、県庁や消防協会に解説員の指導等を申し入れてきた。(電話)  
⇒ 当該来館者に対し、不適切な対応をお詫びし、勝手に操作することの危険性を説明し理解を求めるとともに、あらためての来館をお願いした。

### 第7 福利厚生事業

自らの危険を省みず消防活動に従事したことによる殉職者及び在職中の死亡者を悼み、弔慰救済等を次のとおり実施する。

#### (1) 消防職団員に対する弔慰救済事業の実施

- ・ 在職中に死亡した消防団員に対しての死亡弔慰金(香花料)  
富山市消防団 2名 10,000円、富山市消防局 1名 5,000円、黒部市消防団 1名 5,000円、朝日町消防団 1名 7,000円(功績黄花草授与)、射水市消防本部 1名 7,000円(功績黄花草授与)、氷見市消防団 2名 14,000円(うち1名には功績黄花草授与)、滑川市消防団 1名 5,000円
- ・ 職務により受傷した消防職団員に対する障害見舞金  
富山市消防団 1名 5,000円 舟橋村消防団 1名 5,000円
- ・ 在職中に死亡した役員に対する香花料  
理事長 高平公嗣(立山町消防団長) 20,000円
- ・ 退職後死亡した役員等に対する香花料等  
元常務理事、元理事長、元理事(代議員)、元監事(代議員)、常務理事の親族 5名

#### (2) 全国消防殉職者慰霊祭への参加(9月10日(木) ニッショーホール)

新合祀者全体 6柱 総数 5,688柱 富山県 新合祀者なし 総数 68柱  
富山県参列 遺族 4名 事務局 2名

### 第8 防災センターの運営管理

防災センターの適切な維持管理と施設設備の効率的な活用を図る。

### 第9 その他事業

日本消防協会の火災共済、福祉共済、消防互助年金は、時には自らの危険を顧みず消火活動に従事しなければならない場合における万一の場合の消防職団員の生活の保障のための福祉制度である。加入促進事務、保険金の支払い事務を日本消防協会から委託を受けて実施した。

(福祉共済事業等の状況)

#### ①福祉共済制度

加入団体 15消防団 2消防本部等  
加入者数 9,732名  
掛金総額 29,196,000円  
交付共済金 8,318,500円(53件)

#### ②婦人消防隊員福祉共済制度

加入団体 2消防隊  
加入者数 382名  
掛金総額 305,600円  
交付共済金 支給実績なし

#### ③消防互助年金共済制度

加入者数 340名

#### ④全日本消防人火災共済制度

[B型]

加入団体 13消防団  
加入者数 8,203名  
掛金総額 7,202,500円  
交付共済金 1,519,018円(3件)

[C型]

加入団体 3消防団  
加入者数 29名  
掛金総額 168,000円  
交付共済金 支給実績なし